

Mizuho Daily Market Report

2023/3/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	130.27	130.73	▲0.12	▲1.12
EUR	1.0828	1.0760	▲0.0071	+0.0090
AUD	0.6689	0.6645	▲0.0039	▲0.0052
SGD	1.3279	1.3322	+0.0065	▲0.0101
CNY	6.8495	6.8673	+0.0441	▲0.0194
MYR	4.4247	4.4295	+0.0118	▲0.0565
THB	34.05	34.15	+0.07	▲0.08
IDR	15153	15155	▲190	▲190
PHP	54.28	54.35	+0.04	▲0.37
INR	82.24	82.48	+0.22	▲0.06

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.376%	▲5.0 bp	▲5.2 bp
日本(10年)	0.316%	▲0.7 bp	+2.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.129%	▲6.6 bp	+2.1 bp
オーストラリア(5年)	2.965%	▲6.6 bp	▲16.4 bp
シンガポール(5年)	2.769%	+0.3 bp	▲18.1 bp
中国(5年)	2.683%	+1.3 bp	+1.7 bp
マレーシア(5年)	3.495%	+0.1 bp	▲7.6 bp
タイ(5年)	1.905%	▲2.4 bp	▲10.9 bp
インドネシア(5年)	6.408%	▲8.1 bp	▲9.6 bp
フィリピン(5年)	5.923%	▲1.1 bp	+0.4 bp
インド(5年)	7.147%	▲5.9 bp	▲8.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,237.53	+0.4%	+1.2%
N225(日本)	27,385.25	▲0.1%	+0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,130.62	▲1.8%	+1.6%
ASX(オーストラリア)	4,039.73	▲1.3%	+0.8%
FTSTI(シンガポール)	3,212.64	▲0.2%	+0.9%
SSEC(中国)	3,265.65	▲0.6%	+0.5%
KLSE(マレーシア)	1,399.70	▲0.8%	▲0.9%
SETI(タイ)	1,591.85	▲0.1%	+1.8%
JKSE(インドネシア)	6,762.254	+1.1%	+1.3%
PSE(フィリピン)	6,602.17	+1.0%	+2.0%
SENSEX(インド)	57,527.10	▲0.7%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	258.49	+0.3%	+1.5%
金	1,978.21	▲0.8%	▲0.6%
原油(WTI)	69.26	▲1.0%	+3.8%
銅	8,911.75	▲1.3%	+3.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	—	132.20
EUR/USD	1.0760	—	1.0880
AUD/USD	0.6640	—	0.6750
USD/SGD	1.3220	—	1.3340
USD/CNY	6.8000	—	6.8500
USD/MYR	4.4100	—	4.4400
USD/THB	34.01	—	34.48
USD/IDR	15290	—	15375
USD/PHP	54.20	—	54.60
USD/INR	82.00	—	82.50

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は130円台後半の水準でオープン。米金利低下・日本株下落に追随する形で東京仲値にかけて130円台前半まで下落。その後は、実質五・十日に該当するため一定のドル需要も見られ、130円台後半まで上昇。東京時間午後は、足元の金融機関の信用不安が残存しているためか、再び米金利に金利低下圧力がかかり130円近辺まで下落。引けにかけては小幅に戻し130円台前半レベルで海外時間へ渡った。

アジア通貨は軟調。米欧の銀行問題に端を発する金融システムへの信用懸念が引き続き市場センチメントを押し下げており、アジア通貨は対ドルで総じて軟調に推移。

海外時間のドル円は独大手銀行の経営不安のヘッドラインが伝わり、金融不安の再燃が懸念され、リスク回避の円買いが強まりドル円は130円台を割り込み129円台半ばまで下落、その後小幅反発し130円台前半にてNYオープン。NY時間朝方に発表された米2月耐久財受注(速報値)は予想を大きく下回ったものの、米2月製造業受注(速報値)は予想を上回り、並びに米FRB高官がヒーク金利見通しを引き上げた事を示唆する発言にも後押しされ市場はドル買いで反応。続いて発表された米3月製造業、サービス業、コンソリッドPMI(速報値)が全て予想を上回りドル買いが加速し130円台後半まで上昇。NY時間午後はクロス円の上昇を受けてドル円も底堅く推移し、その後130円台後半まで上昇。高値を更新するも131円台手前で伸び悩み小幅反落、その後は小動きとなり、130円台後半でクロス。

【金利】

米債市場はカブ全体が低下。ドイツ大手銀行株の急落を受け銀行セクターの不安が再燃し、米金利は一時大幅に低下。しかし、FSOCの緊急招集、声明が公表されると低下幅を縮小させる展開に。

【予想】

本日のドル円相場は引き続き軟調か。欧米銀の破綻に起因する市場の不安心理は収まっておらず、リスク回避傾向から円が買われやすい地合いは続く予想する。

【本日の予定】

(日本) 1月 景気動向指数(確)
(日本) 2月 企業向けサービス価格指数
(アジア) 2月 中国 工業企業利益
(欧州) 2月 独 小売売上高
(欧州) 3月 独 IFO企業景況感指数
(欧州) 3月 英 英国産業連盟
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 3月 タラス連銀製造業活動
(米国) 国債入札(2Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。